

スチームアイロン

ウルトラグライド4670

(製品番号 FV4670J0)



初めてご利用になるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
その場合、ジェットスチームボタンを10～15回押して下さい。

目次

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	3
●本体パネル表示 ●スチーム調整レバー	4
●絵表示の見かたと温度の関係	5
ご使用の前に・・・	6
ご使用方法	7
●イージーコードシステム ●水の入れ方	7
●スチームのご使用前に	8
●スチームアイロンとして使うには	9
●ジェットスチームを使うには	10
●パーチカルスチームを使うには	11
●ドライアイロンとして使うには ●ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには	12
●使い終わったら	13
お手入れ方法	14
●本体 ●かけ面	14
●セルフクリーニング	15
●水あか防止バルブのクリーニング	17
故障かなと思ったら	19

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグを
コンセントから抜く

警告



電源は、一般家庭用
100V、50/60Hz
を使用してください。



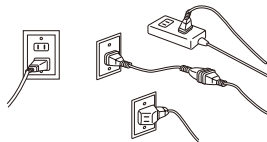
使用中、電源プラグ/
電源コードが異常に熱く
なるときは、直ちに使用を
中止してください。
ショートや発火する
恐れがあります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解し
たり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常作動してけがをする
ことがあります。



- アイロンは、単独で使用してくだ
さい。
- 2口コンセントの場合は片方の
差込み口を空けたままで使用
してください。
- 延長コードを使用される際は、
定格15Aのものに単独で使用
してください。
コンセントや電気コードが発熱し、
発火することがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社お客様相談センターにご連絡ください。



熱いアイロンにコードを巻き付けしないでください。
ショート・発火の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。



ジェットスチームボタンを連続して速く押さないでください。
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



高温になる部分（かけ面など）に触れないでください。
やけどの原因になります。

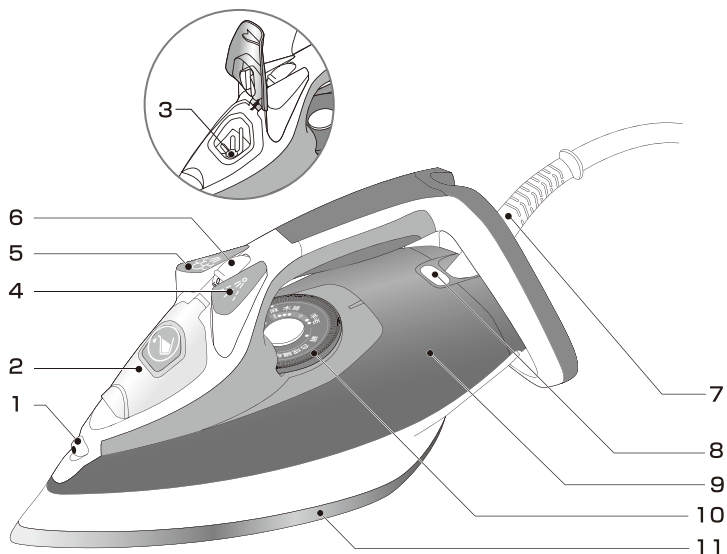


熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。

※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分気をつけてください。

各部の名前とはたらき



1.ワンタッチスプレーノズル

2.注水口カバー

3.水あか防止バルブ

4.ワンタッチスプレー（霧吹き）ボタン

5.ジェットスチームボタン

6.スチーム調整レバー

7. イージーコードシステム

8. サーモスタットランプ

9. 水タンク

10. 温度設定ダイヤル

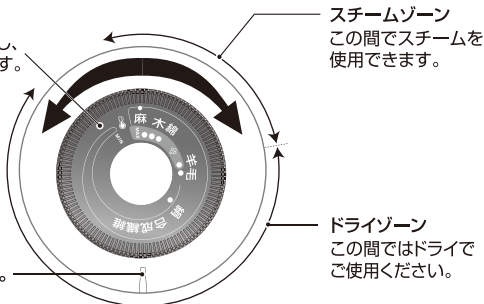
11. かけ面

●本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

温度設定ダイヤル
温度設定ダイヤルを回し、
繊維の種類に合わせます。

この位置に合わせます。



スチームゾーン
この間でスチームを
使用できます。

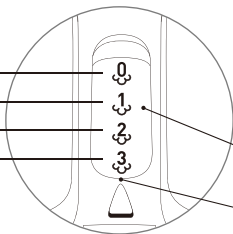
ドライゾーン
この間ではドライで
ご使用ください。

※かけ面は熱くありませんが、「min」でも通電しているので、
使用時以外は電源プラグを抜いてください。

●スチーム調整レバー

スチーム量を調整します。

ドライ
スチーム(低)
スチーム(中)
スチーム(高)



スチーム調整レバー
スチーム量のマークを
ここに合わせてください。

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間が
かかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程押してください。

※ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「麻」「木綿」であれば一度にたくさん
のスチームを出すジェットスチーム(10ページ)が使用できます。

ご使用の前に・・・

- 初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがありますが、異常ではありません。

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には10回ほどジェットスチームボタンを押してからご使用ください。

気になる場合は、セルフクリーニング(15ページ)を実施してください。

- スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水などはご使用にならないでください。

アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかる場合があります。

その場合は、8ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、ジェットスチームボタンを10～15回程度出し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。

- のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ(スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつな갑니다。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

- 温度設定は正確にしてください。

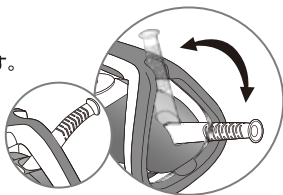
5ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。

複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。

ご使用方法

● イージーコードシステム

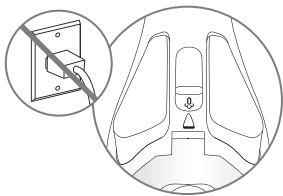
イージーコードシステムは、アイロン本体からコードを遠ざけることにより、手元の衣類とコードのからみを軽減するシステムです。



● 水の入れ方

スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合は、水タンクに水を入れます。

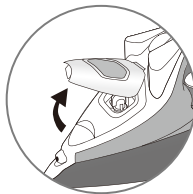
① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。



② スチーム調整レバーを「0」に合わせます。

※ 「0」に合わせないと、ご使用中の水漏れ、湯滴漏れの原因になることがあります。

③ アイロンを持ち上げます。

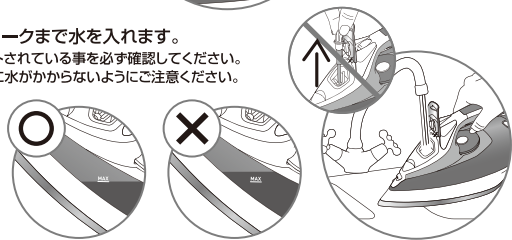


④ 注水口カバーを持ち上げます。

⑤ 水タンクのMAXマークまで水を入れます。

※ 水あか防止バルブがセットされている事を必ず確認してください。

※ 電源プラグ、コード、本体に水がかからないようご注意ください。



⑥ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

● スチームのご使用前に

初めてスチームをご使用になるとき、また長期間スチームをご使用にならなかったときは、下記の手順でスチーム孔と内部に付着したほこりなどを排出させてください。

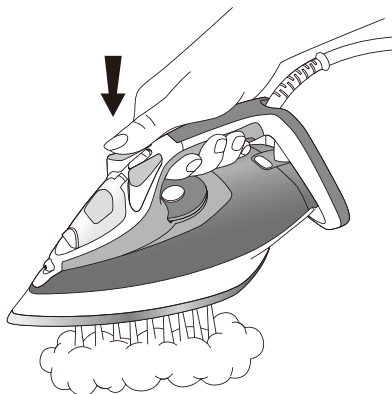
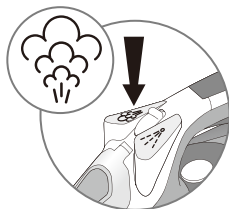
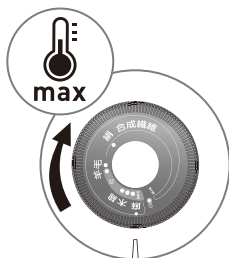
① 水タンクに水を入れます。
(前ページの「水の入れ方」を参照してください。)

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 温度設定ダイヤルを「麻」にセットします。

④ サーマスタットランプが消えたら、かけ面を下にして浮かせて、2、3回ジェットスチームボタンを押してスチームを出してください。

※初めてお使いになるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程度押してください。



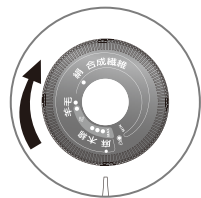
●スチームアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●●●

- ※ 温度設定ダイヤルを「合成繊維」または「絹」にセットしたときは、スチーム調整レバーを必ずドライ(0)にセットしてください。セットしないと、湯滴漏れの原因になります。
- ※ 繊維に合わせてスチーム量をセットしてください。その際、5ページの「温度設定目安表」を参考に「温度設定ダイヤル」と「スチーム調整レバー」を適切にセットしてください。スチーム量を最大にするときは、温度設定つまみを「麻」に合わせてください。
- ※ 初めてご使用になるときは、アイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- ※ 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴で火傷をしないように、アイロン台下に体(足や太もも)がこないように注意してください。
- ※ アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴で火傷をする原因になります。十分気をつけてください。
- ※ スチーム調整レバーを「0」にセットすれば、ドライアイロンとしてもお使いいただけます。

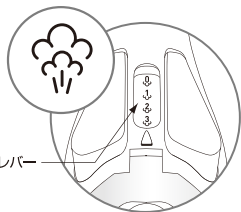
① 水タンクに水を入れます。
(7ページの「水の入れ方」を参照してください。)

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 繊維の種類に合わせて、温度設定ダイヤルをスチームゾーン内でセットします。



④ サーモスタットランプが消えたら、スチーム調整レバーを、5ページの「温度設定目安表」を参考にして、適切な位置にセットします。

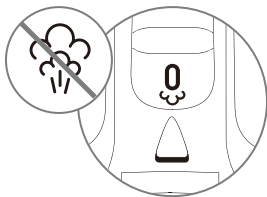


お願い

- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてからアイロンをかけてください。

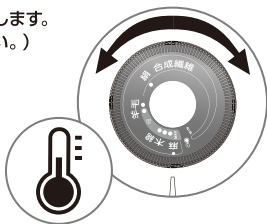
●ドライアイロンとして使うには

① スチーム調整レバーを「0」にセットします。



② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 繊維の種類に合わせて、温度設定ダイヤルをセットします。
(5ページの「温度設定目安表」を参照してください。)



④ サーモスタットランプが消えたら
準備完了です。

※ ドライアイロンとして使用していても、水タンクに水が入っていれば、温度設定が「麻」「木綿」であれば一度にたくさんのスチームを出すジェットスチーム(10ページ)やバーチカルスチーム(11ページ)が使用できます。

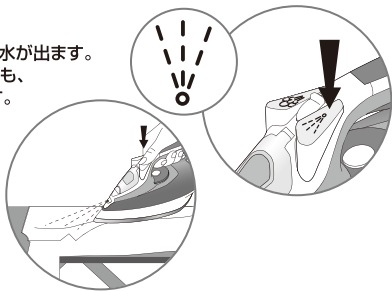
●ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うには

注意

● 絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状の水が出ます。スチームまたはドライで使用していても、水タンクに水が入っていれば使えます。

※ 使い初めは出にくいことがあります。
その場合、ワンタッチスプレーボタンを10回～15回程押してください。

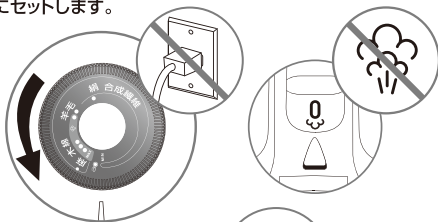


●使い終わったら

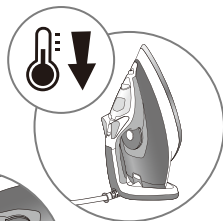
お願い

●水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがありますので、必ず水タンクの水を捨ててから保管してください。

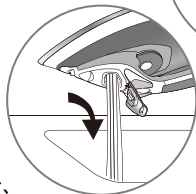
- ① 温度設定ダイヤルを「min」にセットして、スチーム調整レバーを「0」にセットします。



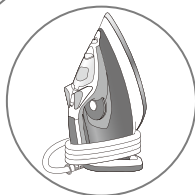
- ② アイロンの電源プラグを抜き、かけ面がさめるのを待ちます。



- ③ アイロンのかけ面が冷めたら、流しの中で注水口カバーを開けて水タンクの水を捨てます。



- ④ 電源コードをアイロンの下部に巻きつけ、電源コードクリップで留めます。必ず立てた状態で保管してください。



※タンクの構造上、完全に水を抜く事は出来ませんが、少量の水の残留は使用上、保管上問題ありません。

注意

- スチーム調整レバーを「0」にセットせず水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- サーモスタットランプが消えている事を確認してから電源プラグを抜いてください。
- アイロンは冷めてから、立てた状態で保管してください。

お手入れ方法

注意

- 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

お願い

- アイロンの電源プラグを抜いて冷めるのを待って、お手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

●本体

やわらかい布で拭いてください。

がんな汚れにはぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

●かけ面

汚れが付いたときはすぐに取りってください。

そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

がんな汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして

1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。

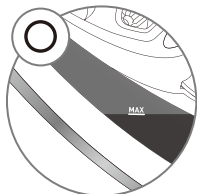
それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

●セルフクリーニング

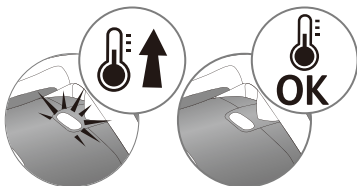
アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングを行ってください。
(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回の目安で行ってください。)
スチーム孔の目詰まり防止に効果的です。

① スチーム調整レバーを「0」にセットします。

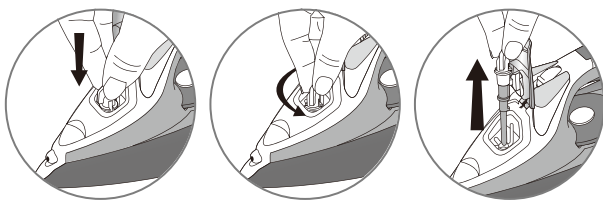
② 水タンクのMAXマークまで水を注ぎます。
(7ページの「水の入れ方」を参照してください。)



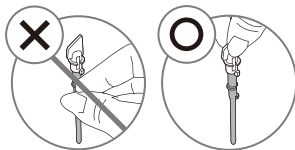
③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、
温度設定ダイヤルを「麻」にセットし、
アイロンを立てた状態で、サーモ
スタットランプが消えるまで待ちます。



④ アイロンの電源プラグを抜いて、流し台などの上で水平に持ち、水あか防止バルブを
反時計回りに約20度回してから引き上げます。



※この時、水あか防止バルブ本体は手で持たないようにしてください。



- ⑤ 水あか防止バルブを抜いた状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。

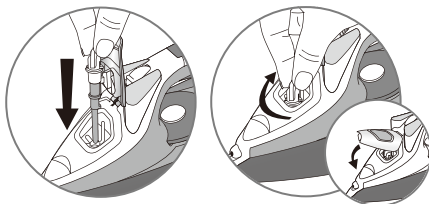


注意

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。

- ⑥ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。

※引き抜いた位置に水あか防止バルブを差し込み、押し回すように時計回りに約20度回してください。



お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずにセットしてください。

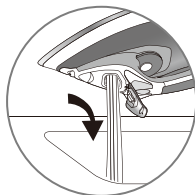
- ⑦ かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

※①から⑦の手順1回で水タンクの水はなくなりません。必要であれば、③からの手順を繰り返してください。

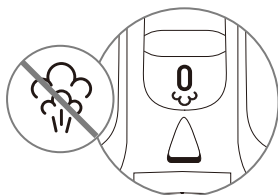
●水あか防止バルブのクリーニング ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

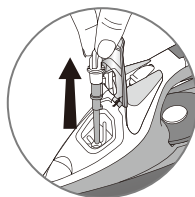
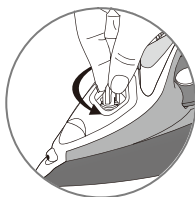
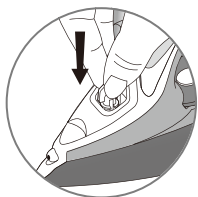
- ① 電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを空にします。



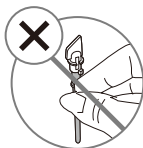
- ② スチーム調整レバーを「0」にセットします。



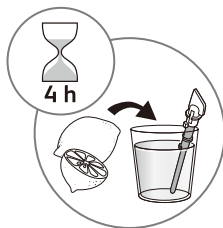
- ③ 水あか防止バルブを反時計回りに約20度回してから引き抜きます。



※このとき、バルブの先端を手で触れないよう注意してください。



- ④ バルブの先端を3～5倍に薄めた酢またはレモン汁に4時間程度浸します。



- ⑤ バルブの先端部分を水道水ですすぎ洗いし、本体に戻してしっかり固定します。

お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずにセットしてください。

故障かなと思ったら

状 況	考えられる原因	対処方法
アイロンが熱くならない	●温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	●温度設定ダイヤルを目的の繊維にセットしてください。
	●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
スチームが出ない または十分でない	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(6ページ)
	●スチーム調整レバーがドライにセットされている。	●スチーム調整レバーをスチームにセットしてください。
	●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定ダイヤルをスチームゾーンにセットしてください。(5ページ)
	●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
	●スチーム孔がつまっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。(15~18ページ)
水タンクに水を入れ終わったら かけ面からスチームが出た	●スチーム調整レバーが「0」に合っていない。	●注水時は必ずスチーム調整レバーを「0」にセットしてください。
水が漏れる	●ジェットスチームボタンの使用回数が多すぎる。	●ジェットスチームボタンを連続使用する場合、少くとも4秒間あけてください。
	●温度設定ダイヤルがドライゾーンにあるのに、ジェットスチームを使用した。	●ジェットスチームを使用するときは、温度設定ダイヤルをスチームゾーンに合わせてください。
	●設定温度になる前にジェットスチームを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからジェットスチームを使用してください。
	●水タンクに水を入れ過ぎた。	●水量は多くてもMAXマークまでにしてください。
	●水タンクを空にせず保管した。	●アイロンかけ後は13ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
	●注水口のふたをしっかりと閉めていない。	●注水口のふたはしっかりと閉めてください。
白い粉がかけ面の孔からでる	●セラミックの粉(P6)か、水道水のミネラル分(カルキ等)がたまり排出された。	●10数回ジェットスチームボタンを押していただくか、セルフクリーニング(15ページ)でお手入れをしてください。

スチーム孔から茶色の液体が漏れて、布地にシミができる	●不適切な水を使用した。	●セルフクリーニングを行い(15ページ)、6ページを参考にして水道水を入れてください。
	●スチーム孔、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	●ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。
かけ面が汚れるあるいは茶色くなり、布地にシミができる	●布地に洗剤やのりが残っている。	●のりを使用する場合は、あて布をしてください。(6ページ) ●かけ面の汚れを取り除いてください。
	●設定温度が高すぎた。	●かけ面の汚れを取り除いてください。 ●5ページの「温度設定目安表」を参照してください。
かけ面にキズがついた	●アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置しておいた。	●アイロンは立てた状態で保管してください。かけ面のキズがひどい場合は、弊社お客様相談センターにご連絡ください。

※修理の依頼は弊社お客様相談センターにご連絡ください。
 なお、補修用部品の供給期間は製造打ち切り後5年間です。

仕様

製品名	ウルトラグライド4670	
製品番号	FV4670JO	
電源	100V 50Hz / 60Hz	
定格消費電力	1200W	
温度ヒューズ	390°C	
本体サイズ	幅	約 13.6 cm
	長さ	約 30.3 cm
	高さ	約 14.5 cm
本体重量	約 1.3 kg	
コード長さ	約 2 m	
タンク注水量	300 ml	
イーザーコードシステム	●	
ワンタッチスプレー (霧吹き)	●	
ジェットスチーム	●	
パーチカルスチーム	●	
水あか防止バルブ	●	
特殊セラミックかけ面	●	

※仕様、デザイン、価格は変更になることがありますのでご了承ください。

Made in France

※注水用カップはついていません。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2500

お客様
相談センター



0570-077772

受付時間：月～金 10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

受付時間：月～金 10:00～16:00(土・日・祝日を除く)

※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。